

2024 年度 履修登録について（全学年共通事項）

商 学 部

履修登録は、本年度における授業科目の受講および受験に関する最も重要な手続ですので、『HANDBOOK（大学要覧）』を熟読のうえ正確に登録し、次の要領で手続を完了してください。

※履修登録・変更に関するお知らせを含め、行事日程等について、インフォメーションシステム等でよく確認してください。

- 1 履修登録期間に遅れた場合は、理由の如何を問わず登録できません。
- 2 Web により履修の登録がない場合は、本年度の受講および受験は認められません。

Web 履修登録説明動画視聴期間

区 分	日 時	場 所
2024 年度新入生	4 月 1 日(月) ~	インフォメーションシステム

Web 履修登録

区 分	日 時	場 所
新 2 年次	3 月 21 日(木)~3 月 27 日(水) 9 : 00~23 : 30 4 月 5 日(金) 9 : 00~15 : 00	インフォメーションシステム
新 3 年次		
新 4 年次		

Web 履修変更 ※ Web 履修変更は正規登録期間中の登録内容からの変更です。

区 分	日 時	場 所
全学年	4 月 7 日(日)~11 日(木) 9 : 00~23 : 30	インフォメーションシステム

※以後、履修変更はできません。また、「登録中」であっても登録終了となります。

※最終日は非常に混みあい、アクセスしづらくなりますので、余裕をもって登録を行ってください。

※教務センターでは、履修登録についての質問・相談に随時対応していますので、不明な点がある場合は、直接来室してください。電話での問い合わせにはお答えしていません。

履修登録に関する注意事項

- 1 各年次の履修制限単位は次のとおりです。
通年科目を履修する場合は、その 2 分の 1 の単位数を春・秋学期それぞれの履修単位に算入して計算してください。また、原則として、在学する学期は、最低 2 単位履修しなければなりません。
例年、卒業所要単位に満たずに残留決定になる場合が見られますので、余裕をもった履修をし、履修した科目は修得することを目指してください。履修については、自己責任です。

1 年次~3 年次	各学期とも 23 単位以内、年間 42 単位以内
4 年次	各学期とも 26 単位以内、年間 49 単位以内

- 2 卒業要件については、『HANDBOOK（大学要覧）』の「商学部の卒業所要単位について」を参照してください。
- 3 履修登録していない科目を受験した場合は、無効です。また、一度修得した科目は再度履修できません。
- 4 原則として、上位年次の配当科目は履修することができません。
- 5 選択した専修により、どの科目が卒業に必要であるか再度確認のうえ、履修登録を完了してください。
- 6 4 年次生は、履修登録の単位集計時に表示される「卒業見込判定」に特に注意してください。
- 7 外国語科目など科目によっては、受講クラスが指定されています。指定されたクラス以外での履修は無効となりますので、クラス指定がされている科目は、指定されたクラス（履修登録画面参照）で登録してください。また、受講許可を必要とする外国語科目の履修については、事前に所定の手続きを経て許可された者に限ります。

- 8 専門教育科目のうち、科目名の後ろに(カッコ)で「テーマ」を付した科目は、1授業科目について2テーマ4単位までしか卒業所要単位に含めることはできません。例えば、第2類の「英語で学ぶ現代ビジネス(各テーマ)」は2テーマまで、各専修における「〇〇〇〇特殊講義(各テーマ)」は各専修において2テーマまでしか卒業所要単位に含めることはできません。

外国語科目の履修(再履修)について

- 1 新2年次における各外国語「Ⅲa・b」「Ⅳa・b」の履修について
原則として履修登録画面上に事前表示(プリセット)しています。
- 2 過年度に単位を修得できなかった各外国語の再履修について
履修登録画面上に事前表示(プリセット)していません。必要に応じて履修登録画面上の「カリキュラム一覧からの登録」等の機能を利用して、当該科目(クラス)を履修登録してください。

春学期に「英語Ⅲb・Ⅳb」を履修することで、卒業見込みとなる場合は、履修することができますので、教務センターに相談してください。

なお、検定認定で単位を修得する予定である場合は、特に履修登録をする必要はありませんが、4年次で卒業見込証明書が必要な場合は、必ず履修登録をしてください。

必修科目の履修(再履修)について

- 1 「基礎演習」の再履修について
原則として履修登録画面上に事前表示(プリセット)しています。
- 2 「基礎演習」以外の必修科目について
履修登録画面上に事前表示(プリセット)していません。必要に応じて履修登録画面上の「カリキュラム一覧からの登録」等の機能を利用して、当該科目(クラス)を履修登録してください。
なお、「簿記入門演習」については、学外資格単位認定で単位を修得する予定である場合は、特に履修登録をする必要はありませんが、4年次で卒業見込証明書が必要な場合は、必ず当該科目を履修登録してください。

また、主として秋学期に開講している「流通入門」および「ビジネス英語入門」の再履修クラスを春学期に開講していますので、希望者は上記と同様の手順にて当該科目を履修登録してください。必修科目の修得は、3年次からの「専門演習」を履修するための先修条件ですので、早い段階での修得を推奨します。

許可制科目の履修について

許可制科目を履修する場合は、以下のとおり手続きが必要です。

※インフォメーションシステムの抽選システムから申込してください。

※許可科目はWeb上の履修登録画面上にプリセット(事前登録表示)します。

※あらかじめWeb上でクラスを指定されている科目(外国語・「専門演習」等)を確認してから申込んでください。

※受講を許可された科目は、取消・変更ができませんので注意してください。

※許可発表後、後日、追加募集を行う場合があります。インフォメーションシステムでお知らせいたします。

《新1年次生対象》

科目名		申込日時・許可発表
専門教育科目	情報処理基礎演習	◆申込日時 4月2日(火)、3日(水) 9:00~23:30 4月4日(木) 9:00~17:00 ◆許可発表 4月4日(木) 20:00~ インフォメーションシステムにて発表
	情報処理応用演習	
	初級ビジネス英語A	
	初級ビジネス英語B	
	上級簿記演習I	
	財務諸表論演習I	
共通教養科目	※詳細は別掲の「定員制科目一覧」参照	

《新2～4年次生対象》

- ◆申込日時：3月21日（木）～23日（土） 9：00～23：30
- ◆許可発表：3月26日（火）9：00～ インフォメーションシステムにて発表
- ◆対象科目：別掲の「定員制科目一覧」参照

秋学期履修変更について

春学期の成績発表を受けて、履修制限の範囲内での履修変更（科目の変更・追加・削除）ができます。ただし、許可制科目およびクラス指定科目（外国語、保健体育科目、演習科目等）を除きます。

卒業所要単位について

※詳細については、『HAND BOOK（大学要覧）』の「商学部の卒業所要単位」を参照してください。

＜2016年度以降入学生＞

- (1) 共通教養科目（20単位）※20単位を超えて卒業所要単位に算入することは出来ません。
- (2) 外国語科目（16単位）※16単位を超えて卒業所要単位に算入することは出来ません。
- (3) 専門教育科目（92単位）

次の要件にしたがって92単位以上を修得しなければなりません。

- ア 第1類 入門科目(必修科目)……12単位
- イ 第2類 共通科目(選択科目)……26単位以上
- ウ 第3類 応用科目(選択科目)……30単位以上
- エ 第4類 演習科目(選択科目)……14単位まで卒業所要単位への算入可
- オ 第5類 実践科目(選択科目)……14単位まで卒業所要単位への算入可
- カ 第6類 産学連携科目(選択科目)…6単位まで卒業所要単位への算入可
- キ 第7類 ビジネスリーダー特別プログラム科目(選択科目)…24単位まで卒業所要単位への算入可
- ク 第8類 会計連携特別プログラム(選択科目)…14単位まで卒業所要単位への算入可
- ケ 自由科目 ……………卒業所要単位に含めません

分類	内 容	
必修科目	第1類	「基礎演習」「流通入門」「経済入門」「ビジネス英語入門」「経営入門」「簿記入門演習」 合計12単位
選択科目	第2類	商学基礎分野から10単位以上、その他の分野から各4単位以上を含めて、合計26単位以上を修得しなければなりません。
	第3類	所属する専修から20単位以上を含めて、合計30単位以上を修得しなければなりません。
	第4類	14単位まで卒業所要単位として算入できます。
	第5類	14単位まで卒業所要単位として算入できます。
	第6類	6単位まで卒業所要単位として算入できます。
	第7類	24単位まで卒業所要単位として算入できます。
	第8類	14単位まで卒業所要単位として算入できます。
合計	92単位	

専修の選択方法（3年次・4年次）

- ①「専門演習」を履修する場合
専門演習の担当者が担当する第3類科目が属する専修をもって、自己の専修とします。
- ②「専門演習」を履修しない場合
3年次履修登録時に一つの専修を選択してください。翌年に所属専修を変更することも可能ですが、卒業要件を満たし得るかどうかに注意してください。

＜2015年度入学生＞

- (1) 共通教養科目（20単位）※20単位を超えて卒業所要単位に算入することは出来ません。
- (2) 外国語科目（16単位）※16単位を超えて卒業所要単位に算入することは出来ません。

(3) 専門教育科目 (92 単位)

次の要件にしたがって 92 単位以上を修得しなければなりません。

- ア 第1類 入門科目(必修科目)……12 単位
- イ 第2類 共通科目(選択科目)……26 単位以上
- ウ 第3類 応用科目(選択科目)……30 単位以上
- エ 第4類 演習科目(選択科目)……14 単位まで卒業所要単位への算入可
- オ 第5類 実践科目(選択科目)……14 単位まで卒業所要単位への算入可
- カ 第6類 産学連携科目(選択科目)… 6 単位まで卒業所要単位への算入可
- キ 第7類 ビジネスリーダー特別プログラム科目(選択科目)…24 単位まで卒業所要単位への算入可
- ク 第8類 会計連携特別プログラム (選択科目) …10 単位まで卒業所要単位への算入可
- ケ 自由科目 ……………卒業所要単位に含めません

分類		内容
必修科目	第1類	「基礎演習」「流通入門」「経済入門」「ビジネス英語入門」「経営入門」「簿記入門演習」 合計 12 単位
選択科目	第2類	商学基礎分野から 10 単位以上、その他の分野から各4単位以上を含めて、合計 26 単位以上を修得しなければなりません。
	第3類	所属する専修から 20 単位以上を含めて、合計 30 単位以上を修得しなければなりません。
	第4類	14 単位まで卒業所要単位として算入できます。
	第5類	14 単位まで卒業所要単位として算入できます。
	第6類	6 単位まで卒業所要単位として算入できます。
	第7類	24 単位まで卒業所要単位として算入できます。
	第8類	10 単位まで卒業所要単位として算入できます。
合計		92 単位

専修の選択方法 (3 年次・4 年次)

- ①「専門演習」を履修する場合
専門演習の担当者が担当する第3類科目が属する専修をもって、自己の専修とします。
- ②「専門演習」を履修しない場合
3年次履修登録時一つの専修を選択してください。翌年に所属専修を変更することも可能ですが、卒業要件を満たし得るかどうかご注意ください。

教員免許・各種資格取得のための自由科目および他学部配当科目の履修について

- 1 自由科目および他学部配当科目の単位は卒業所要単位に算入することはできません。
- 2 自由科目および他学部配当科目を履修する場合は、履修制限単位外で毎年度 30 単位（「教育実習事前指導」、「教育実習(一)」、「教育実習(二)」、「インターンシップ(ビジネス)」、「インターンシップ(学校1~3)」、「イングリッシュ・メディア・ラボⅡa、Ⅱb」は含まない)まで履修することができます。
- 3 各種資格取得に必要な他学部配当科目を履修する場合は、教職科目一覧表を参照し、履修を希望する他学部開講科目を各自、Web履修システムにより、登録してください。
- 4 教職課程に関する連絡は、すべてインフォメーションシステムにより行います。各種ガイダンスの実施日程等については、別掲の日程表を各自で必ず確認してください。

プログラム科目の履修について

- 1 会計連携特別プログラム (ALSP) 関連科目
少人数の演習形式で、公認会計士になるために必要な実務知識や理論、高度な専門知識に加えて、公認会計士試験受験にむけての具体的対策を短期間で体系的・効率的に身につけることを目的としています。
履修に関する留意事項は次のとおりです。
(1) 科目によっては、簿記などの基礎的な知識を前提とすることがあるため、履修条件として一定の資格が必要な場合があります。
(2) いずれの科目についても一定の定員を設けています。履修にあたっては、所定の期間に申し込む必要があ

ります。

2 会計連携特別プログラム（ALSP）科目

日商簿記1級、公認会計士といった会計プロフェッションをより効果的に輩出することを目的としています。履修に関する留意事項は次のとおりです。

- (1) 2年次秋学期に開講する「ワークショップⅠ」については、履修希望者の中から選抜します。なお、先修条件はありません。
- (2) 3年次に開講する「ワークショップⅡ・Ⅲ」については、両科目ともに履修する必要があり、履修希望者の中から選抜します。なお、「ワークショップⅡ・Ⅲ」は2年次終了時点で、第1類入門科目（必修科目）12単位を含めて卒業所要単位のうち合計60単位を修得しなければ履修できません。
- (3) ※2016年度以降入学生対象※
4年次に開講する「ワークショップⅣ・Ⅴ」は「ワークショップⅡ・Ⅲ」を修得しなければ履修できません。また、日商簿記1級または公認会計士試験の受験経験があることを履修要件とします。

3 サービス・イノベーション特別プログラム（DSI）

膨大なデータからビジネスのダイナミクスを科学的に理解し、新しい知見を基礎に新しい社会的価値、ビジネスを創造しうる人材を育成することを目的としています。履修に関する留意事項は次のとおりです。

- (1) 3年次配当科目の一部は原則として継続履修することが必要です。その際、選抜等を行う場合があります。
- (2) 2年次秋学期に開催される説明会に参加し、詳細を把握してください。

4 ビジネスリーダー特別プログラム（BLSP）

国際的に活躍できるビジネスリーダーを育成することを目的としています。

履修に関する留意事項は次のとおりです。

- (1) 2年次に開講する「ビジネスモデル論」「データ分析論」については、履修希望者の中から選抜することがあります。なお、先修条件はありません。
- (2) 3年次に開講する「プロジェクト研究1・2」については、履修希望者の中から選抜し、「英語コミュニケーション1・2」とのセット履修とします。なお、「プロジェクト研究1・2」「英語コミュニケーション1・2」は2年次終了時点で第1類入門科目（必修科目）12単位を含めて卒業所要単位のうち合計60単位を修得しなければ履修できません。

5 ファイナンス特別プログラム（FSP）※2023年度以降入学生対象

高度な金融知識を有する人材を育成することを目的としています。

履修に関する留意事項は次のとおりです。

- (1) 「専門演習」「卒業研究」「研究論文」については、ファイナンス専修の教員が担当しているクラスのみ対象です。
- (2) 1年次秋学期に開催される説明会に参加し、詳細を把握してください。

6 海外ビジネス英語プログラム（BestA）

イギリスのヨーク大学と連携してビジネス英語を学ぶことで、学生の英語力の強化を目的としています。

履修に関する留意事項は次のとおりです。

- (1) BestAへの参加を検討している場合は、春学期に開講している下記科目を履修することを**強く推奨**します。
「Discussing Intercultural Issues in Business」（2023年度以降入学生）
「海外ビジネス英語B（ヨーク4週間コース）」（2022年度以前入学生）
- (2) 4月及び5月に開催される説明会に参加し、詳細を把握してください。説明会の日程については、別途、インフォメーションシステム「お知らせ」にて周知します。

その他ガイダンス等の実施について

※履修を希望する場合は、必ずガイダンスに出席してください。

◆早稲田大学との連携講座

詳細はインフォメーションシステム等で連絡します。

学校インターンシップについて

2024年度「学校インターンシップ」については、別掲の「2024年度 学校インターンシップについて」を参照してください。